

通州事件アーカイブズ設立基金 発足記念シンポジウム

- 7月29日は、79年前に通州事件が起こった日です。



- 東京朝日新聞
1937年8月4日夕刊

- 日時 平成28年7月29日(金) 18:30開会 (20:30終了予定)
- 場所 東京・角筈区民ホール
〒160-0023 新宿区西新宿4-33-7 (電話) 03-3377-1372
*アクセス方法は裏面地図をご参照下さい。
- 参加費 1000円 (事前申し込み不要)

プログラム

- <講演> ユネスコ記憶遺産「通州・チベット」共同申請の歴史的意義
パマ・ギャルポ (国際政治学者)
- <証言> 通州事件の犠牲者と遺族のその後
石井 葉子 (遺族・世田谷区在住)
聞き手 皿木 喜久 (元産経新聞論説委員長)
- <鼎談> 日本近代史の中の通州事件
北村 稔 (立命館大学名誉教授)
加藤 康男 (ノンフィクション作家)
藤岡 信勝 (拓殖大学客員教授)
- <アピール> 通州事件アーカイブズ設立基金へのお誘い
石原 隆夫 (基金事務局長)

■主催 通州事件アーカイブズ設立基金

■後援 新しい歴史教科書をつくる会

*お問い合わせ 設立基金事務局 (電話) 03-6912-0047

「通州事件アーカイブズ設立基金」会員募集のお知らせ

戦後の言語空間の中で、歴史から忘れ去られていた「通州事件」が、今、注目を集めています。通州事件とは、1937年7月29日に、北京東方18キロの通州で、日本の駐留部隊が作戦のため留守にしたスキを狙って、親日地方政権とされていた冀東防共自治政府の治安組織である保安隊が反乱を起こし、無辜の日本人居留民200人以上を無残に殺害した事件です。

この通州事件を、チベットの有志の方と組んで、ユネスコの記憶遺産に共同申請しようとの動きが起こり、15人の調査チームと10人の翻訳チームが組織され、申請資料を作成して、5月31日、ユネスコに送りました。共同申請のタイトルは、「20世紀中国大陸における政治暴力の記録:チベット、日本」というものです。

今回の申請の主体となったのは、上記の調査チームのメンバーが核となって結成された「通州事件アーカイブズ設立基金」(代表＝藤岡信勝)という団体です。基金は、通州事件についての資料の発掘、調査、保存、普及のためのNGOです。

基金の規約では、「基金の活動に参加する」か、または「何らかの形で活動を支える意思のある人」を会員として、基金から依頼することになっています。会員となっても、会費は一切徴収しません。

会の事業を進めるために、「企画部会」、「調査・研究部会」、「対外コミュニケーション部会」の三つの部会が設置され、会員は希望に応じ、どの部会を中心に活動するか申請することができます。基金の会員として通州事件の真実を広める活動に参加して下さいますよう、お誘いします。

*入会をご希望の方は、下記のいずれかの方法で設立基金事務局までご連絡ください。

- ①メール: ftmj0729@mail.com ②FAX: 03-6912-0048

角筈区民ホール



- 交通案内** (京王バス) 新宿駅西口から
(京王デパート前21番バスのりば)
WEバス(旧 新都心循環バス)「パークハイアット東京前」下車
(京王デパート前20番バスのりば)
中野駅行又は中野車庫行「十二社池の上」下車
(京王線) 「初台駅」より徒歩10分
(地下鉄) 大江戸線「都庁前」A5出口より徒歩10分

住所 新宿区西新宿4丁目33番7号